

グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジなし)

運用報告書 (全体版)

第23期 (決算日 2016年9月20日) 第25期 (決算日 2016年11月17日) 第27期 (決算日 2017年1月17日)
第24期 (決算日 2016年10月17日) 第26期 (決算日 2016年12月19日) 第28期 (決算日 2017年2月17日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

「グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジなし)」は、2017年2月17日に第28期の決算を行ないましたので、第23期から第28期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産 (ハイブリッド証券)
信託期間	2014年11月5日から2024年8月19日までです。
運用方針	主として、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券を主要投資対象とする投資信託証券 (投資信託または外国投資信託の受益証券 (振替投資信託受益権を含みます。)) および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。) の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド アンヘッジド・クラス」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

<642495>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
<http://www.nikkoam.com/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比	券 率	投 資 組 入 比	信 託 券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金					
(設定日)	円		円		%		%		百万円
2014年11月5日	10,000		—		—		—		81
1期(2014年11月17日)	10,087		—		0.9	0.1	96.4		88
2期(2014年12月17日)	9,925		40		△1.2	0.1	99.6		99
3期(2015年1月19日)	9,746		40		△1.4	0.1	95.2		102
4期(2015年2月17日)	9,957		40		2.6	0.1	95.4		105
5期(2015年3月17日)	10,092		40		1.8	0.1	95.0		103
6期(2015年4月17日)	9,965		40		△0.9	0.1	94.9		97
7期(2015年5月18日)	10,027		40		1.0	0.1	95.0		97
8期(2015年6月17日)	10,090		40		1.0	0.1	94.9		83
9期(2015年7月17日)	10,227		40		1.8	0.1	95.0		83
10期(2015年8月17日)	10,160		40		△0.3	0.1	95.0		80
11期(2015年9月17日)	9,831		40		△2.8	0.1	95.0		81
12期(2015年10月19日)	9,673		40		△1.2	0.1	95.4		78
13期(2015年11月17日)	9,893		40		2.7	0.1	95.0		80
14期(2015年12月17日)	9,771		40		△0.8	0.1	94.9		75
15期(2016年1月18日)	9,263		40		△4.8	0.1	94.9		70
16期(2016年2月17日)	8,405		40		△8.8	0.1	94.8		58
17期(2016年3月17日)	8,818		40		5.4	0.1	94.9		61
18期(2016年4月18日)	8,467		40		△3.5	—	95.1		53
19期(2016年5月17日)	8,527		40		1.2	—	95.0		47
20期(2016年6月17日)	8,003		40		△5.7	—	94.8		43
21期(2016年7月19日)	8,256		40		3.7	—	95.1		44
22期(2016年8月17日)	8,005		40		△2.6	—	95.0		42
23期(2016年9月20日)	8,105		40		1.7	—	95.0		40
24期(2016年10月17日)	8,139		40		0.9	—	95.1		40
25期(2016年11月17日)	8,417		40		3.9	—	95.0		41
26期(2016年12月19日)	9,152		40		9.2	—	95.1		44
27期(2017年1月17日)	8,972		40		△1.5	—	95.0		44
28期(2017年2月17日)	8,991		40		0.7	—	95.0		38

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	託 券 率
			騰 落	率				
第23期	(期 首) 2016年8月17日	円 8,005		% —		% —		% 95.0
	8月末	8,240		2.9		—		91.6
	(期 末) 2016年9月20日	8,145		1.7		—		95.0
第24期	(期 首) 2016年9月20日	8,105		—		—		95.0
	9月末	8,148		0.5		—		94.9
	(期 末) 2016年10月17日	8,179		0.9		—		95.1
第25期	(期 首) 2016年10月17日	8,139		—		—		95.1
	10月末	8,294		1.9		—		95.1
	(期 末) 2016年11月17日	8,457		3.9		—		95.0
第26期	(期 首) 2016年11月17日	8,417		—		—		95.0
	11月末	8,579		1.9		—		95.0
	(期 末) 2016年12月19日	9,192		9.2		—		95.1
第27期	(期 首) 2016年12月19日	9,152		—		—		95.1
	12月末	9,050		△1.1		—		95.0
	(期 末) 2017年1月17日	9,012		△1.5		—		95.0
第28期	(期 首) 2017年1月17日	8,972		—		—		95.0
	1月末	9,026		0.6		—		95.1
	(期 末) 2017年2月17日	9,031		0.7		—		95.0

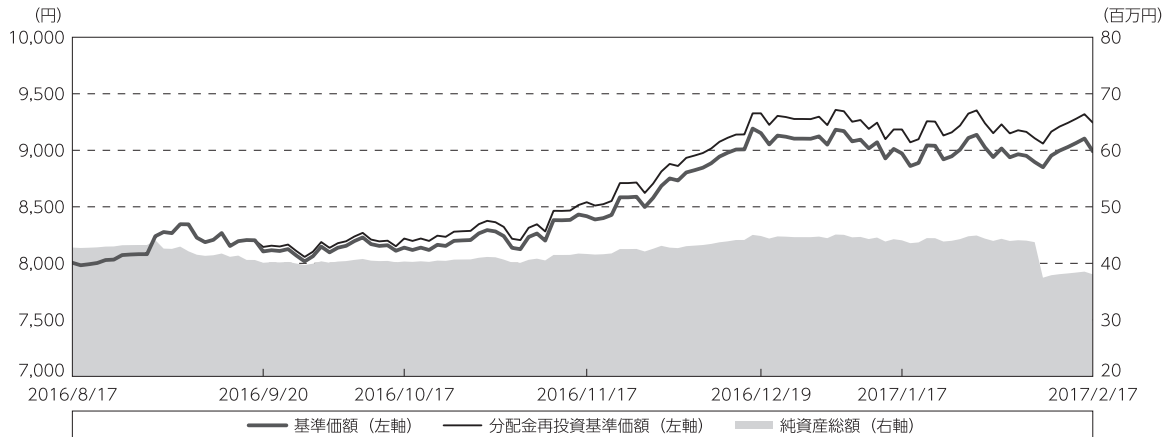
(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2016年8月18日～2017年2月17日）

作成期間中の基準価額等の推移



第23期首：8,005円

第28期末：8,991円（既払分配金（税込み）：240円）

騰落率：15.5%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2016年8月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- （注）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。ハイブリッド証券の中でもCOC債を中心に投資しております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・保有銘柄からインカム収益を得たこと。
- ・保有銘柄の価格が上昇したこと。
- ・アメリカドル、ユーロおよびイギリスポンドが対円で上昇したこと。

<値下がり要因>

- ・米国、英国および欧州の国債金利の上昇がパフォーマンスにマイナスに作用したこと。

投資環境

（Ｃ○Ｃ○債市況）

2016年8月のＣ○Ｃ○債市場は、6月の英国における欧州連合（ＥＵ）離脱を問う国民投票後の下げからの上昇基調を維持しました。低金利環境のもと、市場のボラティリティ（変動性）が低下したことから、Ｃ○Ｃ○債市場は投資家の利回りニーズを集めました。9月には、過去の住宅ローン担保証券の販売を巡り、ドイツ銀行が米国司法省から140億米ドルの支払いを要求されたことがネガティブ・サプライズとなり、Ｃ○Ｃ○債市場は下落しました。ただ、投資家はドイツ銀行のニュースを冷静に受け止め、その悪影響の他の銀行への波及が限定的であったことから、10月のＣ○Ｃ○債市場は反発しました。期間中で最大のイベントとなったのは、11月の米国大統領選挙でした。共和党候補が予想外の勝利を収めたことを契機に、先行きの経済成長が加速し、インフレ率が上昇するとの観測が高まったことから、世界的に国債金利が大きく上昇しました。11月のＣ○Ｃ○債市場のリターンはマイナスとなりました。12月以降、期間末にかけては、米国国債金利の上昇が一服すると同時にボラティリティが低下したこと、リスク性資産全般が騰勢を強めたことから、Ｃ○Ｃ○債市場は11月をボトムにほぼ一本調子の上昇となりました。12月のイタリアの国民投票および同国首相の辞任は材料視されませんでした。欧州諸国のデフレ懸念が後退し、かつ金利上昇により銀行の業績が改善に向かうとの見方が広がったことも、Ｃ○Ｃ○債市場の好調を後押ししました。

（国内短期金利市況）

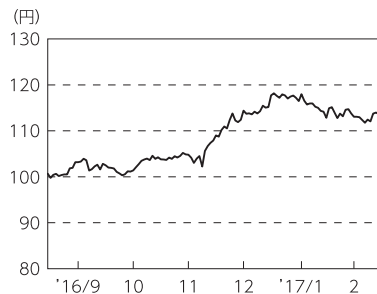
無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.04%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.05%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（ＴＢ）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.23%から、日銀による国債買入れの継続や追加の金融緩和観測などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.27%近辺で期間末を迎えました。

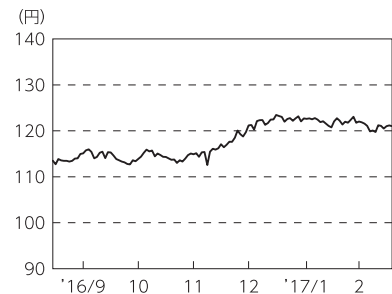
（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



円／ユーロの推移



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

収益性を追求するため「グローバル・ファイナンシャルズ・ファンド（アンヘッジド・クラス）」円建受益証券（期間中に投資先を「グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド アンヘッジド・クラス」円建受益証券に変更しました。）を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

（グローバル・ファイナンシャルズ・ファンド（アンヘッジド・クラス））

（グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド アンヘッジド・クラス）

G-S I F I s（グローバルなシステム上重要な金融機関）に含まれる銀行を中心としたC o C o債、ハイブリッド証券を主たる投資対象とし、相対的に投資妙味が高いと判断した銘柄に投資を行ないました。投資先ファンドの変更に降は、ポートフォリオのデュレーション（金利感応度）は3.5～4.5年、平均格付けはBB+としました。発行体は20前後、40銘柄程度に分散投資しました。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第23期	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期
	2016年8月18日～ 2016年9月20日	2016年9月21日～ 2016年10月17日	2016年10月18日～ 2016年11月17日	2016年11月18日～ 2016年12月19日	2016年12月20日～ 2017年1月17日	2017年1月18日～ 2017年2月17日
当期分配金 (対基準価額比率)	40 0.491%	40 0.489%	40 0.473%	40 0.435%	40 0.444%	40 0.443%
当期の収益	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	377	387	400	414	420	427

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、「グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド アンヘッジド・クラス」円建受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

（グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド アンヘッジド・クラス）

金融危機から8年が経過しました。銀行セクターでは、引当金の減少、貸出の伸長、費用削減、業績改善を映じた配当金の増加などの良好なトレンドが認められます。金融当局による新たな銀行規制策定に関する不透明感が払拭されつつあることもプラスです。

現在は、景気浮揚トレンドにより、これまで世界の投資家から安値に放置されていたセクターの値上がりの恩恵を狙える状況にあると考えられます。日本や欧州などの先進国で金利が低水準にとどまっているなかで、利回りを求めるグローバル投資家のC o C o債に対する需要は高止まりすると見込まれます。

今後もG-S I F I sに含まれる銀行を中心としたC o C o債、ハイブリッド証券を主たる投資対象とし、新規発行証券への投資も検討しながら、運用を継続する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年 8 月18日～2017年 2 月17日)

項 目	第23期～第28期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	45	0.526	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(15)	(0.174)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(29)	(0.336)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.049	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(4)	(0.047)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
合 計	49	0.575	
作成期間の平均基準価額は、8,556円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

○売買及び取引の状況

（2016年8月18日～2017年2月17日）

投資信託証券

銘柄		第23期～第28期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	グローバル・ハイブリッド・セキユリティーズ・ファンドアンヘッジド・クラス	千口 46,228 (2)	千円 39,491 (-)	千口 7,956	千円 7,409
	グローバル・ファイナンス・ファンド(アンヘッジド・クラス)	502	394	52,903	41,674
合計		46,731 (2)	39,885 (-)	60,859	49,083

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は分割・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		第23期～第28期			
		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
マネー・アカウント・マザーファンド		千口 6	千円 6	千口 10	千円 10

○利害関係人との取引状況等

（2016年8月18日～2017年2月17日）

利害関係人との取引状況

<グローバル・ハイブリッド・プレミア（為替ヘッジなし）>

区分	第23期～第28期					
	買付額等			売付額等		
	A	うち利害関係人との取引状況B	$\frac{B}{A}$	C	うち利害関係人との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 39	百万円 39	% 100.0	百万円 49	百万円 49	% 100.0

<マネー・アカウント・マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2016年8月18日～2017年2月17日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2016年8月18日～2017年2月17日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

（2017年2月17日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第22期末		第28期末	
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド アンヘッジド・クラス		—	38,274	36,154	95.0
グローバル・ファイナンシャルズ・ファンド (アンヘッジド・クラス)		52,400	—	—	—
合	計	52,400	38,274	36,154	95.0

（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘	柄	第22期末		第28期末	
		口数	口数	評価額	評価額
		千口	千口	千円	千円
マネー・アカウント・マザーファンド		41	37		37

（注）親投資信託の2017年2月17日現在の受益権総口数は、583,058千口です。

○投資信託財産の構成

(2017年2月17日現在)

項 目	第28期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	36,154	94.4
マネー・アカウント・マザーファンド	37	0.1
コール・ローン等、その他	2,090	5.5
投資信託財産総額	38,281	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第23期末	第24期末	第25期末	第26期末	第27期末	第28期末
	2016年9月20日現在	2016年10月17日現在	2016年11月17日現在	2016年12月19日現在	2017年1月17日現在	2017年2月17日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	41,165,509	40,555,392	41,896,550	45,082,897	44,320,014	38,281,512
コール・ローン等	2,860,129	2,187,948	2,074,130	2,146,744	2,226,964	1,943,671
投資信託受益証券(評価額)	38,084,266	38,327,102	39,588,767	42,643,015	41,869,000	36,154,251
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	40,342	40,342	40,653	41,536	44,093	37,951
未収入金	180,772	—	193,000	251,602	179,957	145,639
(B) 負債	1,065,874	236,370	243,282	247,964	249,515	226,567
未払収益分配金	197,899	198,151	197,948	195,961	196,488	169,300
未払解約金	819,600	—	—	—	—	—
未払信託報酬	44,471	31,563	35,399	38,494	36,199	37,028
未払利息	3	2	2	2	2	2
その他未払費用	3,901	6,654	9,933	13,507	16,826	20,237
(C) 純資産総額(A-B)	40,099,635	40,319,022	41,653,268	44,834,933	44,070,499	38,054,945
元本	49,474,927	49,537,810	49,487,199	48,990,400	49,122,226	42,325,020
次期繰越損益金	△ 9,375,292	△ 9,218,788	△ 7,833,931	△ 4,155,467	△ 5,051,727	△ 4,270,075
(D) 受益権総口数	49,474,927口	49,537,810口	49,487,199口	48,990,400口	49,122,226口	42,325,020口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,105円	8,139円	8,417円	9,152円	8,972円	8,991円

(注) 当ファンドの第23期首元本額は53,453,960円、第23～28期中追加設定元本額は784,848円、第23～28期中一部解約元本額は11,913,788円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第23期0.8105円、第24期0.8139円、第25期0.8417円、第26期0.9152円、第27期0.8972円、第28期0.8991円です。

(注) 2017年2月17日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は4,270,075円です。

○損益の状況

項 目	第23期	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期
	2016年8月18日～ 2016年9月20日	2016年9月21日～ 2016年10月17日	2016年10月18日～ 2016年11月17日	2016年11月18日～ 2016年12月19日	2016年12月20日～ 2017年1月17日	2017年1月18日～ 2017年2月17日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	290,937	272,659	268,358	265,310	265,775	229,034
受取配当金	290,997	272,696	268,420	265,369	265,832	229,104
支払利息	△ 60	△ 37	△ 62	△ 59	△ 57	△ 70
(B) 有価証券売買損益	451,078	128,443	1,342,554	3,565,572	△ 914,450	63,457
売買益	543,199	138,083	1,348,303	3,585,687	—	100,656
売買損	△ 92,121	△ 9,640	△ 5,749	△ 20,115	△ 914,450	△ 37,199
(C) 信託報酬等	△ 48,372	△ 34,514	△ 38,823	△ 42,233	△ 39,711	△ 40,618
(D) 当期繰越損益金 (A+B+C)	693,643	366,588	1,572,089	3,788,649	△ 688,386	251,873
(E) 前期繰越損益金	△ 9,863,712	△ 9,367,968	△ 9,150,876	△ 7,658,832	△ 4,066,144	△ 4,261,177
(F) 追加信託差損益金	△ 7,324	△ 19,257	△ 57,196	△ 89,323	△ 100,709	△ 91,471
(配当等相当額)	(164,198)	(166,573)	(173,892)	(181,935)	(187,398)	(163,270)
(売買損益相当額)	(△ 171,522)	(△ 185,830)	(△ 231,088)	(△ 271,258)	(△ 288,107)	(△ 254,741)
(G) 計(D+E+F)	△ 9,177,393	△ 9,020,637	△ 7,635,983	△ 3,959,506	△ 4,855,239	△ 4,100,775
(H) 収益分配金	△ 197,899	△ 198,151	△ 197,948	△ 195,961	△ 196,488	△ 169,300
次期繰越損益金 (G+H)	△ 9,375,292	△ 9,218,788	△ 7,833,931	△ 4,155,467	△ 5,051,727	△ 4,270,075
追加信託差損益金	△ 7,324	△ 19,257	△ 57,196	△ 89,323	△ 100,709	△ 91,471
(配当等相当額)	(164,198)	(166,573)	(173,892)	(181,935)	(187,398)	(163,270)
(売買損益相当額)	(△ 171,522)	(△ 185,830)	(△ 231,088)	(△ 271,258)	(△ 288,107)	(△ 254,741)
分配準備積立金	1,703,792	1,754,837	1,809,498	1,848,487	1,878,063	1,644,317
繰越損益金	△ 11,071,760	△ 10,954,368	△ 9,586,233	△ 5,914,631	△ 6,829,081	△ 5,822,921

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2016年8月18日～2017年2月17日)は以下の通りです。

項 目	2016年8月18日～ 2016年9月20日	2016年9月21日～ 2016年10月17日	2016年10月18日～ 2016年11月17日	2016年11月18日～ 2016年12月19日	2016年12月20日～ 2017年1月17日	2017年1月18日～ 2017年2月17日
a. 配当等収益(経費控除後)	271,970円	249,196円	261,890円	262,383円	226,064円	197,230円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金増減後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	164,198円	166,573円	173,892円	181,935円	187,398円	163,270円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	1,629,721円	1,703,792円	1,745,556円	1,782,065円	1,848,487円	1,616,387円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	2,065,889円	2,119,561円	2,181,338円	2,226,383円	2,261,949円	1,976,887円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	417円	427円	440円	454円	460円	467円
g. 分配金	197,899円	198,151円	197,948円	195,961円	196,488円	169,300円
h. 分配金(1万口当たり)	40円	40円	40円	40円	40円	40円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

	第23期	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期
1 万口当たり分配金（税込み）	40円	40円	40円	40円	40円	40円

○お知らせ

約款変更について

2016年8月18日から2017年2月17日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、2016年9月30日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。
 - ①運用成果の向上を目指すため、主として投資対象とする投資信託証券を入れ替えるべく、新規の投資対象ファンドに「グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド アンヘッジド・クラス」を追加いたしました。
 - ②上記①の変更に伴ない、受益者が実質的に負担する信託報酬率が上昇することから、これを緩和するため、信託報酬率を年万分の10（税抜）引き下げて、総額を年万分の95（税抜）とするよう、変更を行ないました。（付表、第32条）
- 当ファンドについて、投資対象ファンドの入れ替えが完了したため、投資対象とする投資信託証券から「グローバル・ファイナンシャルズ・ファンド（アンヘッジド・クラス）」を削除するべく、2016年11月18日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。（付表）

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド アンヘッジド・クラス	
	ケイマン籍円建外国投資信託	
運用の基本方針		
基本方針	信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主な投資対象	世界の金融機関が発行するハイブリッド証券を主要投資対象とします。	
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資を行ない、相対的に高水準かつ安定的な利子・配当等収益の獲得を図りつつ、中長期的に信託財産の着実な成長を目指します。 ・外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。 	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 	
収益分配	原則として、毎月10日（休日の場合は翌営業日）に分配を行ないます。 なお、管理会社の判断により収益分配を行わないことがあります。	
ファンドに係る費用		
信託報酬など	純資産総額に対し年率0.74% (国内における消費税等相当額はかかりません。)	
申込手数料	ありません。	
信託財産留保額	ありません。	
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。	
その他		
投資顧問会社	アルジェブリス・インベストメンツ（UK）エルエルピー	
管理会社	日興AMグローバル・ケイマン・リミテッド	
信託期間	2163年3月26日まで	
決算日	原則として、毎年12月末日	

マネー・アカウント・マザーファンド

運用報告書

第7期（決算日 2016年10月12日）
（2015年10月14日～2016年10月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行いません。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率			
3期(2012年10月12日)	円		%		%	百万円
	10,027		0.1		78.6	699
4期(2013年10月15日)	10,035		0.1		88.6	778
5期(2014年10月14日)	10,042		0.1		60.8	707
6期(2015年10月13日)	10,043		0.0		62.9	620
7期(2016年10月12日)	10,042		△0.0		—	483

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
		騰 落	率		
(期 首) 2015年10月13日	円		%		%
	10,043		—		62.9
10月末	10,044		0.0		67.6
11月末	10,044		0.0		63.3
12月末	10,044		0.0		65.3
2016年1月末	10,044		0.0		65.7
2月末	10,044		0.0		72.8
3月末	10,044		0.0		67.6
4月末	10,044		0.0		—
5月末	10,043		0.0		—
6月末	10,043		0.0		—
7月末	10,043		0.0		—
8月末	10,043		0.0		—
9月末	10,042		△0.0		—
(期 末) 2016年10月12日	10,042		△0.0		—

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2015年10月14日～2016年10月12日)

基準価額の推移

期間の初め10,043円の基準価額は、期間末に10,042円となり、騰落率は $\Delta 0.0\%$ となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・利息収入などを得たこと。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めから2016年2月前半までは、概ね0.05～0.09%の範囲で安定的に推移しました。2月後半以降は、日銀によるマイナス金利の導入開始などを受けて低下し、 -0.03% 近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの0%近辺から、日銀による国債買入れの継続や追加の金融緩和観測などを受けて低下が進み、 -0.31% 近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

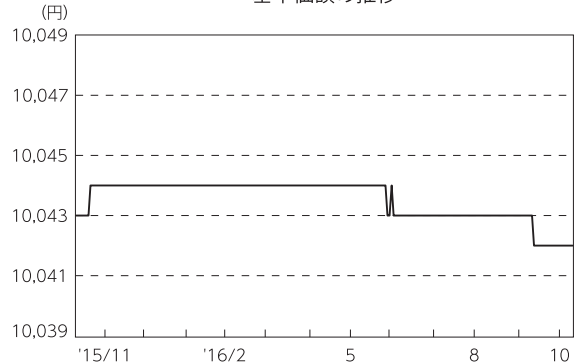
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2015/10/13	2015/10/22	2016/09/12	2016/10/12
10,043円	10,044円	10,042円	10,042円

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年10月14日～2016年10月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,043円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2015年10月14日～2016年10月12日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	3,051,625	2,311,628 (1,130,000)

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 債券現先を含めています。

○ 利害関係人との取引状況等

(2015年10月14日～2016年10月12日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 6,022	百万円 6,022	% 100.0	百万円 6,022	百万円 6,022	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○組入資産の明細

(2016年10月12日現在)

2016年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2016年10月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	484,532	100.0
投資信託財産総額	484,532	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2016年10月12日現在)

項	目	当	期	末
(A)	資産			円
	コール・ローン等			484,532,285
(B)	負債			
	未払解約金			484,532,285
	未払利息			1,508,661
(C)	純資産総額(A-B)			1,508,236
	元本			425
	次期繰越損益金			480,993,642
(D)	受益権総口数			2,029,982
	1万円当たり基準価額(C/D)			480,993,642口
				10,042円

(注) 当ファンドの期首元本額は617,609,609円、期中追加設定元本額は297,706,739円、期中一部解約元本額は434,322,706円です。

(注) 2016年10月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・資源株ファンド通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース>(毎月分配型)	61,656,805円	・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	766,040円
・中華圏株式ファンド(毎月分配型)	60,490,846円	・USハイインカム・ストラテジー・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし	748,136円
・エマージング・プラス(マネーボールファンド)	41,242,762円	・世界標準債券ファンド(1年決算型)	723,698円
・アジア社債ファンドBコース(為替ヘッジなし)	39,127,773円	・世界の高配当株式ファンド(通貨選択シリーズ・毎月分配型)ブラジルリアルコース	709,751円
・インデックスファンドMLP(毎月分配型)	37,663,662円	・インデックスファンドMLP・為替ヘッジあり(適格機関投資家向け)	593,798円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	36,556,016円	・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)	525,717円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネーボールファンド)	36,148,905円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース>(毎月分配型)	443,169円
・世界標準債券ファンド	26,395,547円	・世界のサイフ2(毎月分配型)	401,193円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース	26,144,472円	・USハイインカム・ストラテジー・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジあり	352,186円
・アジア社債ファンドAコース(為替ヘッジあり)	17,125,049円	・アジアインフラ株ファンド(毎月分配型)インドルビー・コース	338,114円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	15,873,379円	・アジアインフラ株ファンド(毎月分配型)インドネシアルピア・コース	239,584円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし	11,068,946円	・ノーロード・インド株式フォークス(毎月分配型)	113,740円
・グリーン世銀債ファンド	6,903,139円	・世界の高配当株式ファンド(通貨選択シリーズ・毎月分配型)資源国通貨コース	105,748円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(新興国通貨戦略コース)	6,735,212円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(1年決算型)為替ヘッジあり	102,030円
・RS豪ドル債券ファンド	5,978,333円	・上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCIエマージング)	99,902円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース>(毎月分配型)	5,941,746円	・世界の高配当株式ファンド(通貨選択シリーズ・毎月分配型)オーストラリアドルコース	83,734円
・エマージング・プラス・円戦略コース	4,291,213円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジあり)	70,452円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース>(毎月分配型)	3,565,140円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(ヘッジなしコース)	69,984円
・インデックスファンドMLP(1年決算型)	3,231,725円	・オーストラリア・インカム株式ファンド(毎月分配型)	67,920円
・高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)	2,827,219円	・世界の高配当株式ファンド(通貨選択シリーズ・毎月分配型)ヘッジなしコース	60,028円
・アジアリートファンド(毎月分配型)	2,818,206円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(通貨プレミアムコース)	45,596円
・SMBC・日興 世銀債ファンド	2,514,471円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジなし)	40,174円
・アジアREITオープン(毎月分配型)	2,455,213円	・アジア債券ファンド(毎月分配型)	38,161円
・グローバルC o C o 債ファンド 円ヘッジコース	1,967,243円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型)為替ヘッジなし	34,825円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジあり	1,490,881円	・上場インデックスファンド海外先進国株式(MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・グローバルC o C o 債ファンド 新興国高金利通貨コース	1,471,114円	・上場インデックスファンドNifty50先物(インド株式)	19,983円
・欧州社債ファンドBコース(為替ヘッジなし)	1,455,837円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500)	19,983円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(円ヘッジコース)	1,425,937円	・上場インデックスファンド中国H株(ハンセン中国企業株)	19,983円
・日興グラビティ・ファンド	1,370,174円	・上場インデックスファンド豪州リート(S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース	1,360,527円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(1年決算型)為替ヘッジなし	16,862円
・グローバルC o C o 債ファンド 先進国高金利通貨コース	1,072,272円	・ノーロード世界株式トップフォーカス	13,682円
・日興マネー・アカウント・ファンド	1,069,770円	・ノーロード・シンガポール高配当株式フォークス(毎月分配型)	12,516円
・アジアインフラ株ファンド(毎月分配型)ブラジルリアル・コース	1,062,142円	・上場インデックスファンド新興国債券(パークレイズLocal EM国債)	9,981円
・欧州社債ファンドAコース(為替ヘッジあり)	998,560円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジあり)	9,958円
・グローバルC o C o 債ファンド ヘッジなしコース	921,896円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジなし)	9,958円
・日興GSグローバル・マーケッツ・ファンド	840,733円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型)為替ヘッジあり	4,287円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース	779,930円		

(注) 1口当たり純資産額は1.0042円です。

○損益の状況

(2015年10月14日～2016年10月12日)

項	目	当	期
			円
(A)	配当等収益	△	53,652
	受取利息		48,057
	支払利息	△	101,709
(B)	有価証券売買損益		244
	売買益		244
(C)	保管費用等	△	2,013
(D)	当期損益金 (A + B + C)	△	55,421
(E)	前期繰越損益金		2,682,400
(F)	追加信託差損益金		1,297,094
(G)	解約差損益金	△	1,894,091
(H)	計 (D + E + F + G)		2,029,982
	次期繰越損益金 (H)		2,029,982

(注) 損益の状況の中で (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2015年10月14日から2016年10月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。